

松苑会 会報

第2号



The University of
Shimane Junior College

公立大学法人 島根県立大学
短期大学部松江キャンパス 松苑会

〒690-0044 松江市浜乃木7丁目24番2号
電話 松江 (0852) 26-5525 (代表)
URL <http://www.u-shimane.ac.jp>

発行 平成22年3月25日

ご挨拶

松苑会

会長 来海 公子

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より松苑会の活動にご支援ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

卒業生の仲間を繋ぐ情報提供をしようと三年前、皆様のお手元に会報創刊号をお届けしました。母校の変革、松苑会の近年の取り組みなどご覧頂きましたでしょうか。

このたび、母校の躍進の一端をご紹介する大塚茂先生の特別寄稿や、三年ごとに開催する代議員総会の報告などを中心に第2号を発刊しました。今後定期的に発刊する予定です。情報交換の場としてご活用下されれば幸いです。

ささの代議員総会は、昨年の菊薫る候、宍道湖畔に多数の代議員の皆様にお集まり頂き、総会・記念講演・記念演奏等で盛り上がりました。ご出席頂いた代議員の皆様にご心よりお礼申し上げます。

学校法人化された母校や、厳しさを増す社会へ巣立つ後輩のために、松苑会はこれからも大学と協働して出来る限りの支援をして参りたいと思いま

す。御協力の程何とぞよろしくお願い申し上げます。

文化情報誌

『のんびり雲』です。

よろしく！

島根県立大学短期大学部

総合文化学科

教授 大塚 茂

島根県立大学短期大学部松江キャンパスの総合文化学科では、二〇〇七年四月の学科発足にあたって、教育活動のひとつの柱として文化情報誌を発行することにしました。名前は『のんびり雲』といいます。

本誌の特徴のひとつは、学生と教員が共同で、企画、取材から原稿執筆、編集、誌面デザインに至るまで、ほぼすべての作業を自力で行っている点です。外部にお願いしているのは印刷・製本だけで、誌面のレイアウト・デザインも専用のパソコンソフトを使って自分たちで行っています。

もうひとつの特徴は、地域文化資源の発掘を目指している点です。有名で評価の定まった文化財・文化遺産ではなく、地味で平凡な、身近にあつてなかなか注目されることのない「小さな文化」の発掘を中心に据えようという

わけです。対象地域は山陰両県で、記事は学生たちが実際に現地に足を運んで取材して書きます。

春は企画の時期。ワイワイ楽しく進んでいきます。夏になると企画も固まり、順次取材に出かけます。たいてい三、四人の取材班を組んで出かけるため、行きの車中はかなり遠足に近い雰囲気。現地に着くと緊張感はややと高まりますが、それも先方の親切な対応ですぐにほぐれます。取材が終わるといよいよ難所の原稿執筆。これを取り切つて誌面デザインを終えると、あとは完成を楽しみに待つだけです。

『のんびり雲』は年刊で、毎年十月に発行しています。二五〇〇部印刷し、山陰両県の高校・図書館などに配布するほか、主要書店にて販売しています(定価四二〇円)。ぜひ一度ご覧になってください。



代議員総会開催

平成二十一年十一月二十二日、ホテル一畑において代議員総会を開催しました。

来海会長の挨拶に始まり、遠藤幸子前会長、北野清美前副会長、藤田琢子前副会長の三名の方々に感謝状を贈呈しました。

その後議事に入り、会務報告と監査報告、そして平成二十一年度事業計画と予算について承認されました。

昼食後は、藤岡大拙先生の記念講演と、笛作家樋野達夫先生の演奏を楽しみました。

当日は百十名の参加をいただき中には遠路益田からお越し下さった方もありました。和やかな雰囲気の中、女専6期卒業の福岡恭子さんの指導により「今日の日はさようなら」を全員で合唱し、名残を惜しみつつ散会しました。

代議員総会次第

1. 開会のことば
2. 物故者に黙祷
3. 会長挨拶
4. 感謝状・記念品・花束贈呈
5. お礼のことば
6. 議 事
 - 1) 議長選出
 - 2) 会務報告
 - 3) 会計決算報告
 - 4) 会計監査報告
 - 5) 平成21年度事業計画案
 - 6) 平成21年度予算案
 - 7) 会則の改正
 - 8) その他
7. 閉会のことば



来海会長挨拶



出席者の方々



藤岡先生記念講演



乾杯



懇親会



遠藤前会長お礼のことば

● 松苑会の近年の取り組み

松苑会のつどい

記念講演と記念演奏



神話の国出雲を語る

元鳥根県立鳥根女子短期大学学長
荒神谷博物館館長

藤岡 大拙 先生



古代ロマンを奏でる

笛作家

樋野 達夫 先生

母校の歴史に 触れて感じたこと

平成15年保育科卒業

坪井 絵梨

私は、昨年行われた「松苑会代議員総会」に初めて出席させていただき、母校の歴史と伝統の素晴らしさを改めて感じました。と同時に会場でお会いした先輩の方が「松苑会」として母校の発展や私たち後輩のために様々な支援をしてくださっていたことを知りました。

私は短大を卒業して七年がたちました。同じ夢を抱いて出会った友人と過ごした二年間は、人生の宝であり、支えになっています。

現在保育士として勤めていますが、今でも悩んだ時などは母校に行くと、安心できます。

平成十九年に新たな名称となりましたが母校を誇りに思い、卒業生として社会人としてこれからの人生も責任を持って勤め、過ごしていきたいと思われました。そして「松苑会」の親睦がもっと深まり、母校と「松苑会」がより一層発展することを心から願っております。

松苑会からの

お知らせ

● 飛鳥祭のご案内 ●

- ・とき 平成22年10月中旬（予定）
- ・ところ 鳥根県立大学短期大学部
松江キャンパス

※卒業して母校に行かれたことありますか？大学祭はオープンなので、ぜひ今の学生さんの活動を見に行きましょう！！

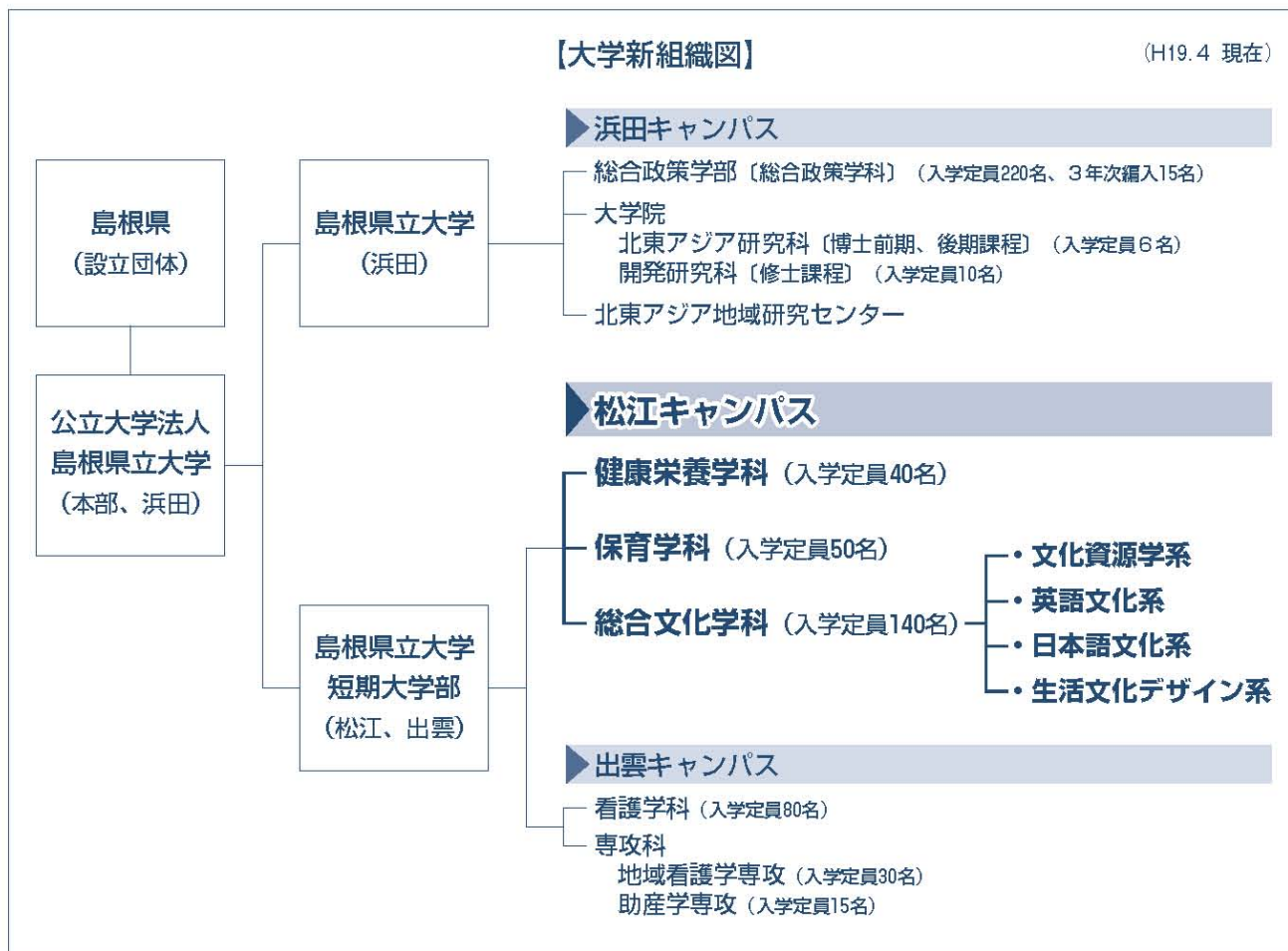
● 公開講座開催のご案内 ●

- ・とき 平成22年8月～9月
- ・ところ 鳥根県立大学短期大学部
松江キャンパス
- ・講師 鳥根県立大学短期大学部
教授 小泉 凡先生

※各クラス委員の方には日時が決まり次第ご案内いたしますので、会員の方多数お誘い合わせご出席ください。お待ちしております。

【大学新組織図】

(H19.4 現在)



市居 美代子



退職後、同窓会のお世話ということで声をかけていただき、微力ながらお手伝いさせていただきます。
(昭和41年保専卒)

松本 史子



ピンチヒッターで引き受けた理事ですが、皆さんのパワーに負けぬようついていきたいと思っております。
(昭和55年保育科卒)

市松 居本 美代子
新監事

松本 史子
新理事

榎田 智子
監事↓理事

役員交代

編集後記

3年ぶりで会報第2号を代議員総会報告を中心にお届けします。短大や、学生たちとの絆をいっそう深め合えるよう、今号では短大のトピックスや学園祭のご案内、会員を対象とした公開講座のお知らせなどを掲載しております。詳しくは県立大学のホームページ「卒業生の皆様へ」欄をご覧ください。皆様の積極的なご協力ご参加をお願いいたします。
(役員一同)

● 松苑会会員の現況 ●

(平成21年12月31日現在)

- ・全会員 8,610名
- ・不明 836名
- ・死亡 146名
- ・海外 11名

※住所等の変更がありましたら必ず松苑会事務局までお知らせ下さい。

※会員名簿の中で消息不明会員にお心当たりのある方は松苑会事務局までお知らせ下さい。